

# KANAZAWA UNIVERSITY DATA'11

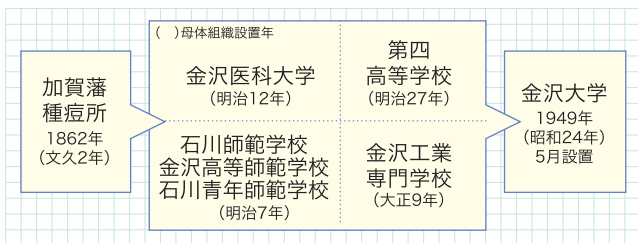
データで見る金沢大学 2011

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 組織・沿革              | 9 社会貢献         |
| 2 入学状況               | 10 生涯学習        |
| 3 学生数及び附属学校幼児・児童・生徒数 | 11 国際交流・外国人留学生 |
| 4 卒業後の進路             | 12 附属図書館・資料館   |
| 5 教育                 | 13 附属病院        |
| 6 研究                 | 14 収入・支出予算額    |
| 7 科研費                | 15 職員数         |
| 8 産学官連携              | 16 キャンパス面積     |



# 1 組織・沿革

歴史と伝統を引き継ぎ、未来へ向けて改革する  
3学域・16学類・5研究科・1研究所の総合大学  
2012年に創基150年を迎えます



## 3学域・16学類

### 人間社会学域

人文学類／法学類  
経済学類／学校教育学類  
地域創造学類／国際学類

### 理工学域

数物科学類／物質化学類  
機械工学類／電子情報学類  
環境デザイン学類  
自然システム学類

### 医薬保健学域

医学類／薬学類  
創薬科学類／保健学類

## 附属病院

がん進展制御研究所

## 附属図書館

## 学内共同教育研究施設

地域連携推進／学際科学実験／総合メディア基盤  
イノベーション創成／留学生／外国語教育研究  
環日本海域環境研究／大学教育開発・支援  
環境保全／子どものこころの発達研究の各センター

## 保健管理センター

## 共通教育機構

## 大学院5研究科

教育学研究科  
人間社会環境研究科  
自然科学研究科  
医学系研究科  
法務研究科(法科大学院)

## フロンティアサイエンス機構

## 学内共同利用施設

極低温研究室／資料館／埋蔵文化財調査センター  
技術支援センター

## 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

- 金沢大学の起源は文久2(1862)年の加賀藩種痘所まで遡ることができます。これは、国立大学では3番目に古い起源です。
- 加賀藩種痘所など、様々な学校の歴史と伝統を引き継ぎ、昭和24(1949)年5月に新制大学として発足しました。
- 平成16(2004)年4月に設置者を国から国立大学法人に変え、新たな一歩を踏み出しました。
- 平成20(2008)年4月、社会の要請に応じた優れた人材の育成と、時代が求める新しい学問領域の開拓を図るため、これまでの教育組織である8学部・25学科・課程を3学域・16学類に再編・統合しました。
- 現在は、3学域・16学類のほか、大学院5研究科、附属病院、がん進展制御研究所などで構成されています。

# 2 入学状況

## 地元北陸3県を中心に 全国各地から入学者が集まる総合大学

■入学者の地域別内訳は、北陸3県が54%、東海地域が16%、関東・甲信越地域が16%、近畿地域が7%の順となっています。

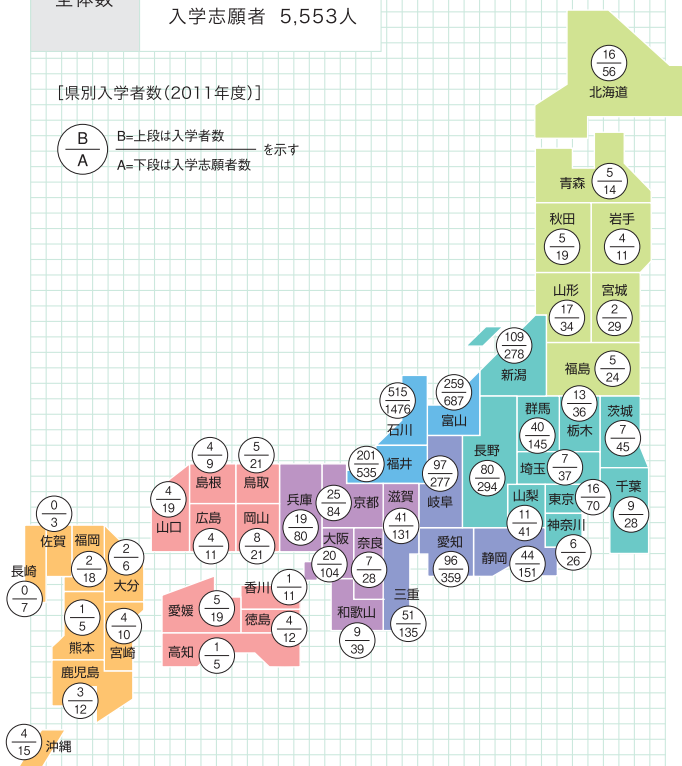
全体数

入学者 1,813人

入学志願者 5,553人

[県別入学者数(2011年度)]

$\frac{B}{A}$  B=上段は入学者数  
A=下段は入学志願者数 を示す



高等学校卒業程度認定試験等合格者  $\frac{5}{15}$

外国の学校等  $\frac{19}{60}$

その他  $\frac{1}{1}$

# 3 学生数 及び附属学校幼児・児童・生徒数

附属学校を含め  
約12,200人の学生が在籍  
うち女子学生は4,576人(約37%)

[学域等別学生数]

(単位:人)

学域・学部	学生数	研究科	学生数
人間社会学域	3,153(1,621:51%)	大学院修士 (博士前期) 課程	1,440( 347:24%)
理工学域	2,660( 389:15%)		
医薬保健学域	1,576( 887:56%)		
文学部	59( 31:53%)	大学院博士 (博士後期) 課程	963( 274:29%)
教育学部	43( 21:49%)		
法学部	42( 8:19%)		
経済学部	46( 14:30%)	専門職学位課程 (法務研究科)	68( 24:35%)
理学部	29( 3:10%)		
医学部	226( 48:21%)	計	2,471( 645:26%)
薬学部	80( 49:61%)	その他 別科	38( 37:97%)
工学部	97( 7:7%)		
計	8,011(3,078:38%)		

合計 (収容定員 9,365) 10,520(3,760:36%)

( )内の数値は女子学生の人数及び割合です。

■附属学校幼児・児童・生徒数は、幼稚園134人、小学校664人、中学校475人、高等学校377人、特別支援学校61人の計1,711人です。

[附属学校在籍者数]

(単位:人)

学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	134( 60:45%)	高等学校	377( 164:44%)
小学校	664( 333:50%)	特別支援学校	61( 20:33%)
中学校	475( 239:50%)		

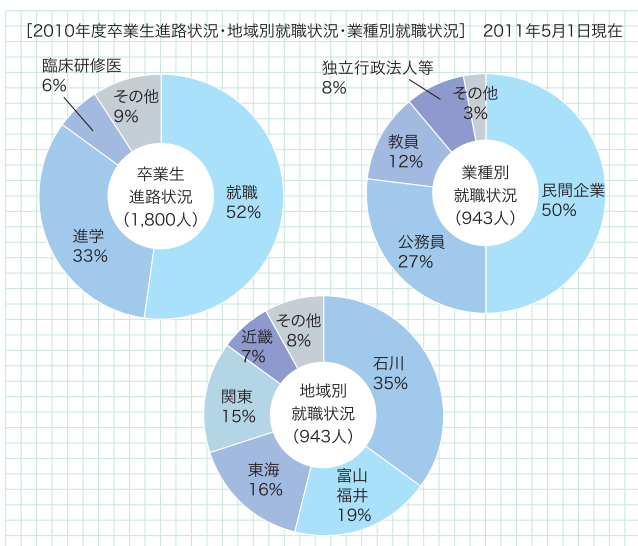
合計 1,711(816:48%)

( )内の数値は女子児童・生徒の人数及び割合です。

# 4 卒業後の進路

学部卒業者の約3割が大学院へ  
理系学部(医学部を除く)においては  
68%が進学

- 学部卒業生の累計は、78,667人に達し、社会の各方面で活躍しています。
- 2010年度学部卒業生(1,800人)の33%が大学院へ進学。
- 就職者の約3割が公務員、就職エリアは北陸が54%でトップ(石川県35%)。



## 官公庁へ多くの人材を輩出

- 金沢大学では、就職支援室が中心となって、就職指導・支援の充実を図るとともに、大学生協とタイアップして公務員試験対策講座を開講するなど、資格取得に向けた支援の強化を図っています。
- そのひとつの成果として、地方公務員試験合格者数は全国大学中でも常に上位を占め、難易度がそれに類する国家公務員Ⅱ種試験でも2010年度合格者(行政)は101名、(技術系)15名、特に行政は国公立大学で5年連続1位となっています。また、難関と言われる国家試験でも健闘しています。

# 5 教育

## 本当に学びたいものが学べる学士教育

- 「学類」という枠組みで入学した学生は、そこで学びの基礎を固めつつ、自分が本当にやりたいテーマを探することができます。
- 「経過選択制」により、基礎基本を学びながらじっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- それぞれの学類・コース・専攻において、必要最小限の科目を「コア・カリキュラム」として整備。学びの核をつくとともに「主専攻」「副専攻」を用意。これにより学際的、横断的な学びが可能になりました。

## さまざまな学生支援を展開

金沢大学の特色ある取組みとして、様々な学生支援を行っています。

- 大学生活のスタートをサポートする導入科目。社会生活の基礎から現代教養や将来設計まで幅広いレクチャーを受ける「大学・社会生活論」と、自発的な学習能力の基礎を身につける「初学者ゼミ」。
- 学習・履修方法やコース選択などについて、一人ひとりに親身な指導を行うアドバイス教員制度。
- 履修と大学生活に必要な情報が網羅されている「アカンサスポータル」、学習の記録や履歴を見ることができる「学習ポートフォリオ・システム」やe-ラーニングと呼ばれる講義等、ICTを活用した自学自習を行う環境を整備。

## 学位授与数は全国23位

[2009年度大学別学位(課程博士)授与者ランキング]

順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数
1	東京大学	1,400	10	東京工業大学	386	19	新潟大学	212
2	京都大学	755	11	広島大学	329	20	立命館大学	198
3	大阪大学	741	11	中央大学	329	21	慶應義塾大学	176
4	九州大学	635	13	神戸大学	321	22	一橋大学	174
5	東北大学	577	14	千葉大学	304	23	金沢大学	165
6	北海道大学	547	15	明治大学	248	24	大阪市立大学	162
7	名古屋大学	478	16	岡山大学	237	25	熊本大学	157
8	早稲田大学	462	17	東京医科歯科大学	227	26	東京農工大学	152
9	筑波大学	402	18	日本大学	220	27	横浜国立大学	147

朝日新聞社「大学ランキング2012年度版」より

- 共通教育では、導入教育・学際的教育を目指す総合科目、多彩な言語科目、少人数で充実したゼミナールが開講され、また、シティカレッジによる石川県内の他の高等教育機関との単位互換制度の導入など、金沢大学の共通教育は大変充実した内容となっています。

# 6 研究

学術論文被引用数, 国内**21**位  
薬学・毒性学分野では国内**5**位,  
臨床医学分野では同**12**位

- 大学の研究面の成果や実績を示す指標のひとつとして「学術論文」の引用数がありますが、トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators<sup>SM</sup>」データベースによれば、2000年1月～2010年12月の11年間の論文被引用数は、金沢大学は国内で21位、世界407位にランクされています。
- 分野別では、薬学・毒性学分野では国内5位、臨床医学分野では同12位となっているなど、質量ともバランスのとれた教育重視の研究大学です。

[日本の論文の引用動向 2000-2010 日本の研究機関ランキング]

①【全分野(ALL FIELDS) 4,522機関】

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	13	東京大学	71,762	1,080,166	15.05
2	33	京都大学	52,690	757,253	14.37
3	40	大阪大学	44,450	646,338	14.54
4	66	(独)科学技術振興機構	24,051	503,453	20.93
5	67	東北大学	42,280	490,403	11.6
6	110	(独)理化学研究所	19,414	362,564	18.68
7	118	名古屋大学	27,851	350,266	12.58
8	127	九州大学	29,272	326,548	11.16
9	148	北海道大学	28,771	296,291	10.3
10	152	(独)産業技術総合研究所	26,110	291,870	11.18
11	176	東京工業大学	24,569	264,969	10.78
12	233	筑波大学	17,901	206,638	11.54
13	289	慶應義塾大学	14,037	168,735	12.02
14	303	広島大学	16,173	163,164	10.09
15	304	自然科学研究機構	9,451	162,449	17.19
16	320	千葉大学	12,581	153,238	12.18
17	350	岡山大学	13,562	137,972	10.17
18	364	神戸大学	11,942	130,139	10.9
19	392	東京医科歯科大学	7,983	118,441	14.84
20	406	(独)物質・材料研究機構	11,517	113,315	9.84
21	407	金沢大学	9,405	112,294	11.94

- トムソン・ロイター社「Essential Science Indicators<sup>SM</sup>」データベースを基に作成。  
(国内順位は公表されているもの以外は研究国際部研究推進課調べ。それ以外の世界順位等の情報は上記データベースから転記。)
- 同データベースは、論文の被引用数を基に、各分野の世界のトップ1パーセントにランクされる研究機関の情報を収録。
- データは、2000年1月～2010年12月の11年間の論文被引用数等に係るデータ。
- 本ランキングは大学のみならず研究所や企業などの研究機関も含んだ研究機関ランキングであり、大学ランキングではない。

# 7 科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」の  
新規採択件数は**281**件 (2011年度)

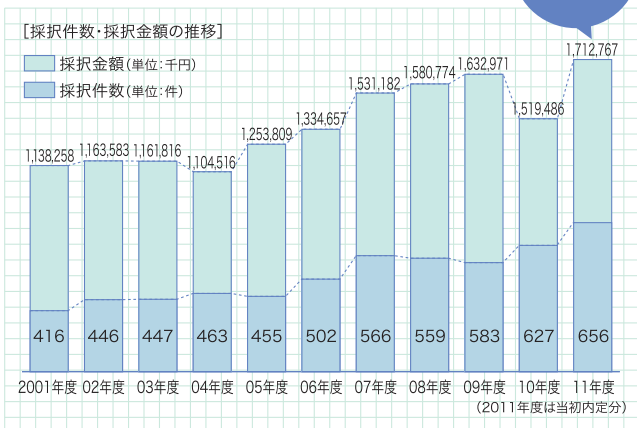
■ 科研費の2011年度国の予算は2,633億円(うち、後年度負担分は429億円)です。

[2011年度科研費 配分件数ランキング(新規採択分)]

順位	大学・機関名	採択件数	順位	大学・機関名	採択件数	順位	大学・機関名	採択件数
1	東京大学	1,349	8	筑波大学	442	15	東京工業大学	284
2	京都大学	1,073	9	広島大学	395	16	(独)理化学研究所	282
3	大阪大学	981	10	慶應義塾大学	359	17	金沢大学	281
4	東北大学	976	10	神戸大学	359	18	新潟大学	254
5	九州大学	705	12	岡山大学	325	19	熊本大学	250
6	北海道大学	672	13	早稲田大学	305	20	東京医科歯科大学	220
7	名古屋大学	609	14	千葉大学	295	21	徳島大学	202

注1) 研究代表者の所属する大学等により整理している。

新規+継続の合計では採択件数**656**件,  
採択金額**17億1,277万円**  
採択金額は10年前に比べ**50%**増



■ 金沢大学では、応募書類作成のための説明会を開くなど、科研費の一層の獲得増を目指しています。



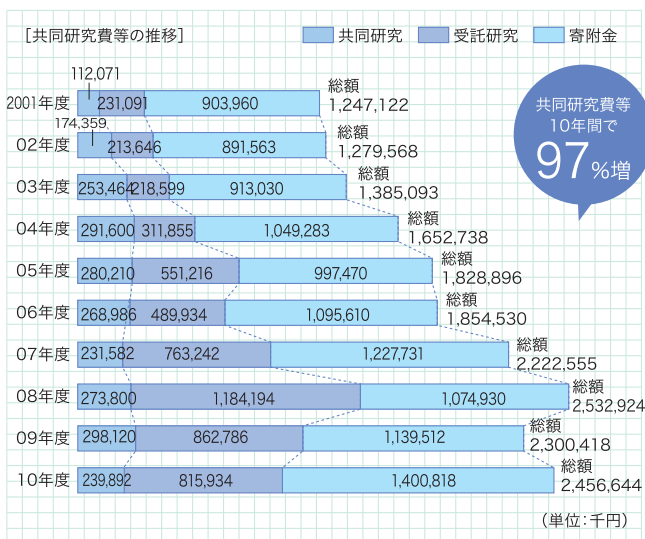
# 8 産学官連携

金沢大学では「イノベーション創成センター」を窓口として、産業界との連携を図るため、共同研究、受託研究を推進しています

- 2010年度の共同研究・受託研究の合計件数は330件で、10年前に比べて1.93倍に増えています。
- 2009年度の民間企業との共同研究は、全国の国公立大学の中では、件数別で19位です。(文科省「2009年度大学等における産学連携等実施状況調査」より)

## 共同研究費等は10年間で97%増。

- 金沢大学における2010年度の共同研究、受託研究、寄附金を合わせた金額は、24億5,664万円となっており、産学官連携による資金の獲得を積極的に図っています。



## 特許出願は46件 特許等実施許諾契約19件締結 2009年度特許実施料収入 全国16位

- 金沢大学では、発明は、原則として機関帰属とし、将来、特許として保有する価値のあるものについて厳選して特許出願しています。
- 2010年度は、発明届出79件、出願数46件、特許等実施許諾契約件数19件、特許等実施料収入18,469千円となりました。

# 9 社会貢献

## 全国の国立大学をリードし、積極的に社会貢献活動を実施

■金沢大学は、2002年度に「地域貢献推進室(社会貢献室を経て、現・地域連携推進センター)」を設置、全国に先駆けて「地域貢献コーディネーター」を配置しました。文部科学省の競争的資金や民間ファンドの支援を獲得するなど、積極的に事業を展開しています。

2006年度	三井物産環境基金の支援を受け「能登半島・里山里海自然学校」を設立(2006年7月～2009年6月)
2007年度	科学技術振興調整費(地域再生人材創出拠点の形成)に「能登里山マイスター養成プログラム」が採択(2011年3月)
2008年度	大学・地域連携研究プロジェクト支援事業に「自然との共生による地域づくりをめざした能登振興研究プロジェクト」が採択(～2009年3月)
2009年度	三井物産環境基金の事業に「里山里海アクティビティの創出」が採択(～2012年9月) 日本財団の事業に「能登いきものマイスター」が採択(～2012年3月)
2010年度	文部科学省特別経費に「里山再生学の構築」が採択(～2015年3月) 大学・地域連携研究プロジェクト支援事業に「能登半島の里海の保全・活用」が採択(～2012年3月)

### リージョナルセンターへの取り組み

能登半島では、地元自治体との強い連携を図りながら、金沢大学にしかできない特色ある教育及び地域研究を実施するための地域連携の拠点として、「能登オペレーティング・ユニット」を設置します。

ここでは、大気観測による東アジアの環境研究や、生物多様性の生態調査などが進められており、このような能登におけるフィールド重視型の教育研究活動のさらなる可能性を探っていくだけでなく、地域との連携した教育・研究活動を通じて、地域社会の問題解決や活性化にも寄与しています。

### 里山里海プロジェクト

珠洲の能登学舎では、環境配慮型農水産業を学び、次世代のリーダーを養成する事業を展開する「能登里山マイスター養成プログラム」、能登の里山里海資源を活用した地域活動の創出や、都市圏の若手の人材を能登に呼び寄せ里山里海の保全活動を専属の協働ディレクターを通じて展開する「里山里海アクティビティの創出」、そして、能登の自然と生業を学ぶ「能登いきものマイスター」を実施しています。

さらに、そうした里山・里海の連携活動や研究成果を大学の教育活動に活かすため、高度な教育プログラムを開発し、学部と大学院の特性に応じた里山里海の再生に資する人材を育成する「里山再生学の構築」がスタートしています。

### 金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」

創立五十周年記念館「角間の里」:白山麓旧白峰村から築300年の豪農民家を移築し、大学と地域の交流拠点としてオープンし、さまざまな交流活動をおこなっています。平成18年度金沢都市美文化賞を受賞しました。

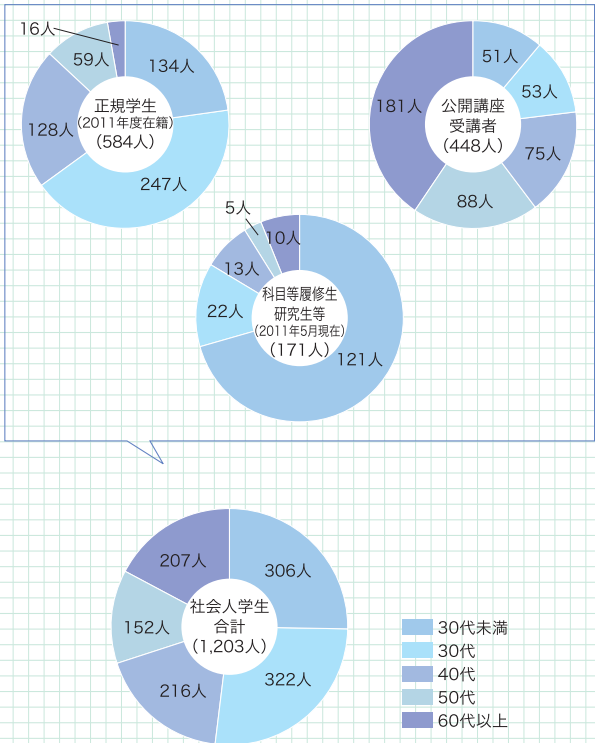
# 10 生涯学習

## 1,203人の“社会人”が入学 幅広い年齢層を受け入れ

開かれた大学づくりによる、生涯学習へのお手伝い

- 金沢大学では、公開講座、オープンキャンパスなど様々な形態で、開かれた大学づくりを推進し、行政・関係団体・グループなどと協力し合いながら、各界各層の市民の皆さまの生涯にわたる学習活動へのお手伝いをさせていただいています。
- 1976年以来、公開講座受講者は14,619人、大学が県内の市や町と連携して行っている市町共催講座の受講者は64,923人(地域連携推進センター調べ)となるなど大学の有する資源としての専門性を生かし、生涯学習社会の構築に寄与しています。

[社会人入学者の年代別内訳]

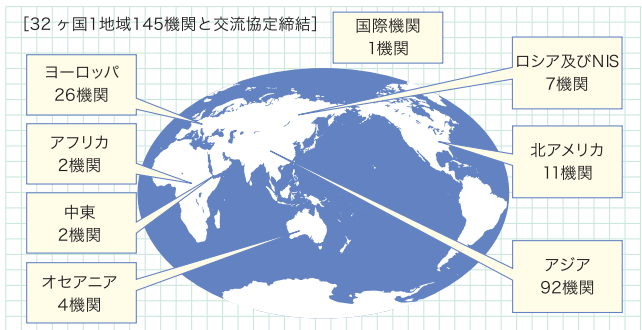
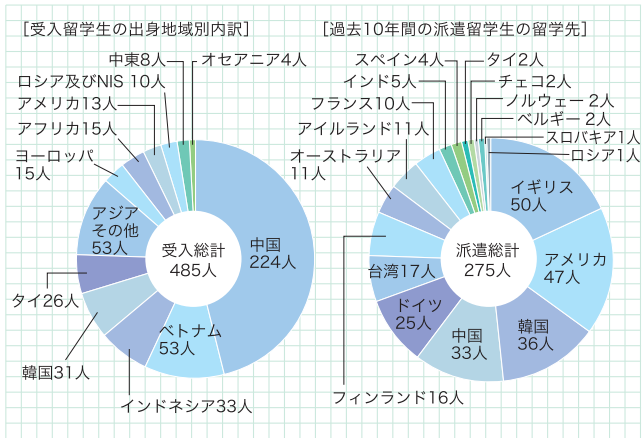


# 11

## 国際交流・外国人留学生

環日本海の基幹大学、  
東アジアの**アカデミアの拠点**として、  
アジア地域との交流を積極的に推進

- 金沢大学は、環日本海域の基幹大学、東アジアのアカデミアの拠点として、中国、韓国をはじめとするアジア地域との交流を積極的に推進しており、交流協定校の半数以上がアジアの機関、受入れ学生の8割以上がアジアからの学生です。
- 金沢大学で学ぶ外国人留学生は、世界36ヶ国・地域からの計485人です。うち86%にあたる420人がアジア地域からの留学生です。中でも、中国からの留学生が一番多く、224人を数えます。
- 近年では、毎年50名余りの学生が協定校に留学(期間2週間～1年)しています。留学先で多い国は、イギリス、アメリカ、韓国、中国です。このほか、アメリカ、ドイツ、フランス、中国の協定校等の短期語学研修プログラムに派遣するなど海外留学を促進しています。



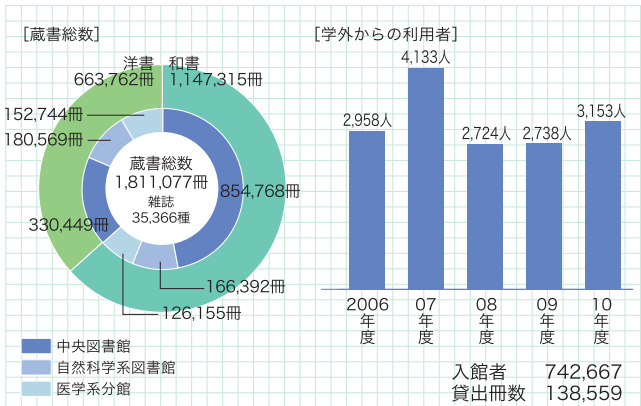
# 12 附属図書館・資料館

蔵書数は**181万冊**。検索も可能です。  
電子ジャーナルは7,000タイトル以上と充実。  
図書館ウェブサイト

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

金沢大学の研究成果も発信中

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/>



■附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)及び医学系分館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成され、合わせて年間約74万人の入館者と、14万冊の館外貸出があります。

■県内公共図書館と協力して図書館ネットワークを形成しており、来館の利用者(北陸3県在住者)に直接貸出をするほか、公共図書館を窓口とした貸出の申し込みも受け付けています。また、平日は午後10時までで開館し、中央図書館では日曜日も開館するなど、社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供しています。

■金沢大学学術情報リポジトリ(KURA)により、本学教職員の教育・研究活動の結果として生み出された学術成果(論文や研究データなどのコンテンツ)を電子的な形態で保存し、インターネット上で世界に向け公開しています。

■資料館は1989年、金沢大学の角間移転を機に設置され、文化史、自然史、科学史にわたる「学術標本」や「金沢大学史料」を収集・保存し、公開しています。主なコレクションとして、加賀藩藩校「明倫堂」「経武館」の扁額、第四高等学校の物理実験機器、著名な宗教家暁烏敏収蔵の陶磁器コレクションなどを所蔵しており、年3回の特別展・企画展や数回の特別展示等を開催しています。また、石川四高記念文化交流館の展示企画にも協力しています。

収蔵資料総数

約31,200点 (モノ資料 22,000点  
文書資料 9,200点)

入館者数

5,222人

# 13 附属病院

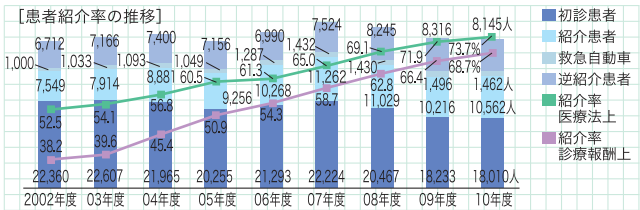
1日平均患者数は2,317人, ベッド数合計838床, 看護師750人を含む合計1,675人のスタッフで手厚い医療・看護を実施

診療科数 31科		ベッド数 838床	
診療状況			
外来		入院	
延患者数 381,920人	1日平均患者数 1,578.2人	延患者数 269,714人	1日平均患者数 738.9人

※外来診療日数242日 ※患者数は2010年度

## 内科・外科部門を中心に、各臓器別・疾患別に31科の専門診療科

- 附属病院は特定機能病院, 救急病院などの指定を受けています。
- 近年, 病院の機能や役割は細分化され, 大学病院, 地域の病院・診療所が役割分担し, それぞれの役割を果たすことが重要になっています。  
附属病院は, 高度で良質な医療を提供する特定機能病院として, 患者のかかりつけ医である地域の病院・診療所, そして保健行政機関, 医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。  
また, 2007年1月, 厚生労働省から都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け, 石川県の中心的ながん診療機能を担い地域医療機関等と協力し, より良いがん医療を提供しています。

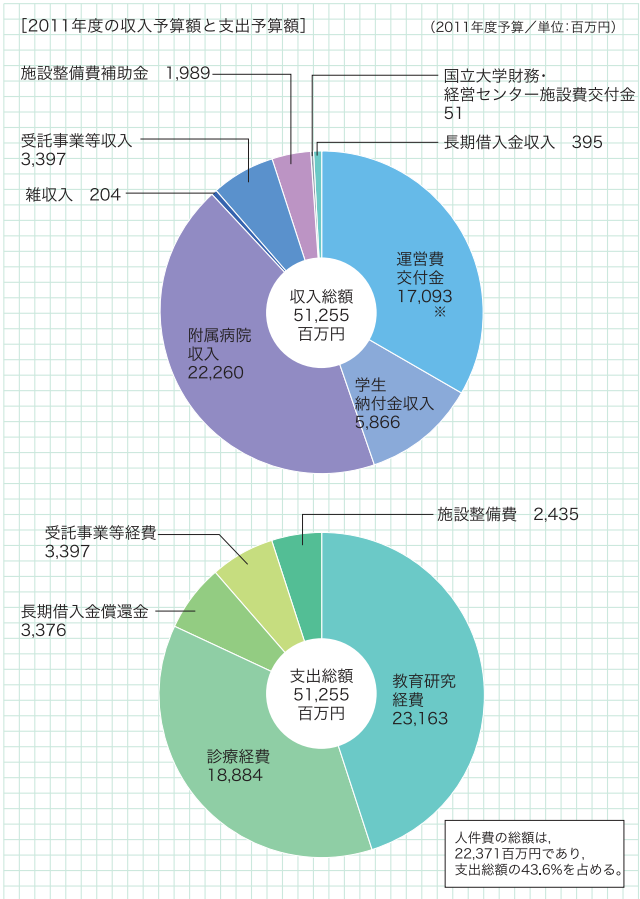


- 2009年5月にオープンした外来診療棟は, 高度な医療を提供するための機能性を備えるとともに, 快適で居心地の良い環境の実現を目指して建設されました。  
これにより中央診療棟, 病棟とあわせ, 患者が利用しやすい機能的なフロア構成となり, 平易な診療動線に配慮しています。  
さらに, 快適で利便性の高い院内環境を提供するために, 全診療科を予約制としました。これにより患者待ち時間が短縮し, 診療環境の向上と院内の混雑解消が実現しました。
- 2010年6月には(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価(Ver.6.0)び認定を受け, 患者さんへの安全で良質な医療や看護を提供している現状が評価されました。

2011年1月からは金沢先進医学センターとの連携により, 一般の人間ドックのような病気の発見にとどまらず, 専門医が健康増進や疾病予防のアドバイスを行い, 全身をトータルに管理する高次人間ドック(プレミアムドック)を開始しました。

# 14 収入・支出予算額

2011年度予算額は約**513億円**



- 国からの運営費交付金約171億円は、収入予算額の約33%を占めています。
- 金沢大学の予算額を地方自治体の2011年度一般会計予算額と比較してみると、石川県の約1/10、金沢市の約1/3、白山市より多い金額となっています。

[2011年度一般会計当初予算額]

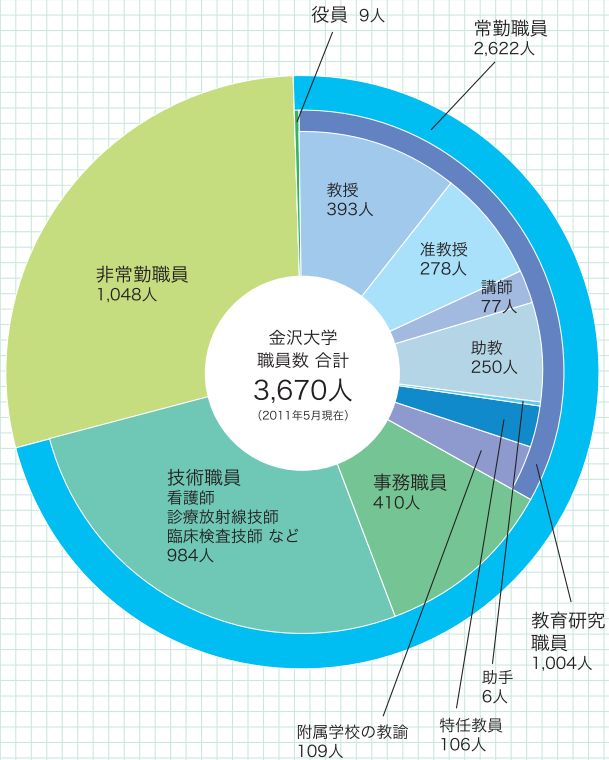
石川県	金沢市	白山市
505,858百万円	163,220百万円	50,332百万円

自治体のホームページ公表データより

# 15 職員数

2011年5月現在,  
金沢大学で働くスタッフの数は**3,670人**

[金沢大学で働く職員数とその内訳]



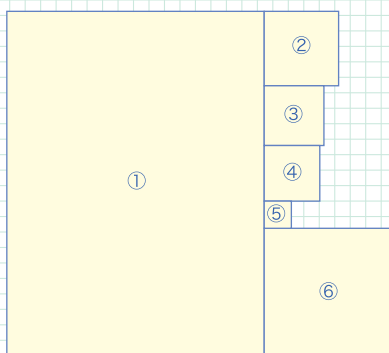
- 金沢大学で働くスタッフ数は常勤2,622人, 非常勤1,048人の合計3,670人。この数字は, 石川県庁のスタッフ数の約6分の1。金沢市役所職員の約3分の2にあたります。
- うち教育研究職員が1,004人。学生10人につき, 教育研究職員が1人つく割合です。



# 16 キャンパス面積

豊かな緑に囲まれた  
ロケーションにある角間キャンパス  
このメインキャンパスをはじめとする  
金沢大学の総面積は、約**267万**m<sup>2</sup>  
東京ドームの約**57**個分

[各キャンパスの面積対比]



①角間キャンパス 2,008,565m<sup>2</sup>  
本部・人間社会学域・理工学域・  
医薬保健学域(薬・創薬)・がん研 ほか

②宝町・鶴間キャンパス 151,053m<sup>2</sup>  
附属病院・医薬保健学域(医・保) ほか

③小立野地区 83,342m<sup>2</sup>

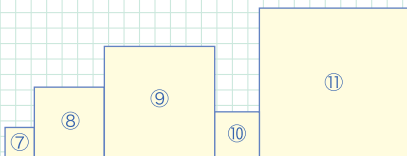
④平和町地区 79,876m<sup>2</sup>  
附属幼・小・中・高

⑤東兼六地区 10,517m<sup>2</sup>  
特別支援

⑥その他 333,905m<sup>2</sup>  
臨海実験施設  
辰口共同研修センター  
学生寮・職員宿舎 ほか

①+②+③+④+⑤+⑥  
金沢大学 総面積 2,667,258m<sup>2</sup>

[比較例]



⑦石川県立野球場 20,179m<sup>2</sup>

⑧金沢城公園(外堀等含む)  
約285,000m<sup>2</sup>

⑨兼六園 114,429m<sup>2</sup>

⑩東京ドーム 46,755m<sup>2</sup>

⑪東京ディズニーランド 510,000m<sup>2</sup>



# 金沢大学

KANAZAWA  
UNIVERSITY

編集 / 金沢大学 広報戦略室

所在地 / 〒920-1192 石川県金沢市角間町

tel.076-264-5024 fax.076-234-4015

URL / [www.kanazawa-u.ac.jp/](http://www.kanazawa-u.ac.jp/)

Email / [now@kanazawa-u.ac.jp/](mailto:now@kanazawa-u.ac.jp)

※このリーフレットをお読みになったご感想をお寄せください。このリーフレットの掲載内容及び最新ニュースなどについては、「金沢大学ホームページ」でもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2011年5月1日現在のものです。

